

(別紙3)

評価細目(福祉サービス別項目【保育所版】)の福祉サービス評価結果

評価分類1 子どもの発達援助

1-(1) 発達援助の基本

評価細目	評価結果
1-(1)- 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a・b・c
1-(1)- 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a・b・c
評価所見 保育計画は、保育指針、地域のニーズ等に配慮して作成されている。さらに保護者に満足のいく保育内容の充実を図るために、指導計画の評価に、日頃のサービス提供内容や保護者の状況の変化や意向等が十分反映されるような仕組み作りが望まれる。	

1-(2) 健康管理・食事

評価細目	評価結果
1-(2)- 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a・b・c
1-(2)- 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a・b・c
1-(2)- 歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a・b・c
1-(2)- 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a・b・c
1-(2)- 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a・b・c
1-(2)- 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a・b・c
1-(2)- 子どもの食生活を充実させるために、家族と連携している。	a・b・c
1-(2)- アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a・b・c
評価所見 健康管理についてはマニュアルが整備され、保護者・職員へも十分に伝達がなされている。食生活の充実に関しても、毎月の献立表が配布され、食事を楽しむ雰囲気作りへの工夫やアレルギー疾患のある子どもへの対応にも配慮がみられる。また、調理室の環境整備も十分である。感染症に対してもマニュアルが整備されているが、さらに保護者の十分な理解を得るために、施設内での発症状況など随時情報を公開する方法の検討、その説明を事前から行うなどのさらなる充実が望まれる。	

1-(3) 保育環境

評価細目	評価結果
1-(3)- 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
1-(3)- 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a・b・c

評価所見

施設内は明るく、換気等にも配慮されていた。また敷地内に植物が随所に植えられるなど季節感が感じられ、過ごしやすい環境であった。遊具等も定期的な点検を行うなど、安全確保のための取り組みもなされている。

子どもの人数に対して少々手狭に感じられるところがあるが、管理者も把握されており、対応策について検討中である。今後より良い環境作りのための対応に期待したい。

1-(4) 保育内容

評価細目	評価結果
1-(4)- 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a・b・c
1-(4)- 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a・b・c
1-(4)- 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a・b・c
1-(4)- 身近な自然や社会とかかわれるような取組がなされている。	a・b・c
1-(4)- 様々な表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	a・b・c
1-(4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	a・b・c
1-(4)- 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮されている。	a・b・c
1-(4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮されている。	a・b・c
1-(4)- 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
1-(4)- 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
1-(4)- 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c

評価所見

子どものおだやかな表情から、心身の発達に十分注意し、愛情と心配りの行き届いた保育が行われていることが伺える。行事等での地域交流の機会を設けたり、異年齢交流などで、自然や社会とのかかわりや人間関係が育つような配慮、取り組みもなされている。

さらなる質の向上にむけて、子どもの人権に関する研修の取り入れ、職員間の引継ぎの検討、障害児保育の充実について、職員全体で協議するなど、今後の対応に期待したい。

評価分類 2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

評価細目	評価結果
2-(1)- 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a・b・c
2-(1)- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a・b・c
2-(1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a・b・c
2-(1)- 虐待を受けていると思われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a・b・c
2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a・b・c

評価所見

登・降園時の保護者との連絡、個別面談、保育参観・講演会の開催、連絡帳の利用、園だよりやクラス便り等の発行など、保護者と共通理解を得るための努力はなされている。
虐待についてもマニュアルが整備され、職員の共通理解が十分なされている。

2-(2) 一時保育

評価細目	評価結果
2-(2)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・b・c
評価所見 一時保育は積極的に行われているが、子どもの心身の状況を把握するためには保護者との連携が不可欠と考えられる。緊急時の対応等、保護者とのコミュニケーションをより十分に図っていくことが求められる。	

評価分類3 安全・事故防止

3-(1) 安全・事故防止

評価細目	評価結果
3-(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a・b・c
3-(1)- 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a・b・c
3-(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a・b・c
3-(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a・b・c
3-(1)- 不審者の進入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a・b・c
評価所見 衛生管理、食中毒の発生、事故や災害の発生、不審者の侵入について対応できるマニュアルが整備され、十分に注意が払われている。さらに職員や保護者の安心を得るために、遊具の点検チェックリスト、トイレや手洗い場の点検表作成など、一層の工夫を期待したい。	